

～ 教具の開発・効果的な使い方 ～

特性理解に基づいた 教材開発の実際について



岡山白ゆり発達支援センター

石原 忍



第1部 教材開発の視点となる3つのアプローチ

- ・ スモールステップ
- ・ 支援除去法
- ・ 多感覚刺激

第2部 個別支援の事例から

- ・ りんちゃん(小5)の実践事例から
- ・ オリジナル教材から見えるスモールステップ
- ・ 実際の指導のようす

第3部 おわりに

- ・ 子どもは集団の中で育つ
- ・ すべては肯定的な自己理解力を育てるために
- ・ ご家族の切なる願いを受けて



第1部 教材開発の視点となる3つのアプローチ ①

スモールステップ

- 「できる」と「できない」の間をつなぐ教材
- つまずきを予測し、事前に手立てを準備しておく

特性理解と課題分析 ⇒ エラーレス(完全習得)学習



その子の今と、学習のねらいを多面的に読み解く力量

(例) 数が数えられるようになる 〈同数発見プリント〉

- 数唱 → 順序数の意識化 → 一対一対応 → 数字認知
→ 視覚的把持 → 数字との対応 → 操作活動(経験)

支援除去法

(プロンプトフェーディング)

- 手厚い支援を施し、課題を達成させていきながら、段階的にその支援を除去し、自力解決させる方法
- 支援の出し入れの加減 ⇔ 特性理解

(例) 文章を読み取る力を育てる 〈3ステップ読解プリント〉

1ステップ 答えをなぞる(内言語化)

2ステップ 答えを選ぶ(継次的読解力) = 聴覚性言語

3ステップ 答えを記入する(同時的読解力) = 視覚性言語



多感覚刺激

(二系統同時刺激)

- 育てたい力を明確にした上で、トータルな学習活動の中で、他の感覚や能力を使いながらそれを統合化させていくアプローチ

(例) ひらがなが読めるようになる 〈ひらがな-図柄対応プリント〉

言語→ 文字言語 内言語 理解言語 表出言語 聴覚性言語
(その子の優位な特性を利用して、他の言語性を高める)

視覚性優位傾向(同時処理)

〈逐次読み〉

りんごの絵を見せ内言語化
→ 文字を読ませる

聴覚性優位傾向(継次処理)

〈文字を振り返ることが苦手〉

言葉を聞いて内言語化
→ キーワードを見つける



第2部 個別指導の事例から ①

りんちゃん(小5)



2年生2学期から
週1度 90分のマンツーマンレッスン
ダウン症

りんちゃんの特性理解と課題について

- 達成動機が高い (△ 切り替え メモリー 遂行機能)
- 継次処理優位の認知特性

(○ 応答的なやりとり メタ認知 書字 ロールプレイ)
(△ 微細の視覚認知=漢字 読字 数の量的なとらえ)



第2部 個別指導の事例から ②

○ 育てたい力

- 数を量的にとらえて処理できる力（計算）
- 文章を読み、尋ねられた内容に答える力（読み）
- 漢字を正確に認知し、書く力（書く）

○ 基本的な支援のスタンス

- イントロを省略せず、体験的な活動をしていねいに行う
- 達成動機を尊重し、エラーは次回の方略に生かす
- メタ認知を活用した視覚支援のプロンプトフェーディング



数を量的にとらえて処理できる力を育てる

順序数との出会い(数との出会い) ⇔ 切り替えができない

数を量的にとらえる
活動体験そのものの不足 + 継次処理優位の
認知処理特性

15-9 (減減法から減加法へ)

(具体的な学習活動)

- ・ 各種算数ゲーム (数え棒、お買い物、すごろくゲーム)
- ・ ブロックによる操作活動 (数の合成・分解)
〈1予備刺激 2教示 3プライミング 4自力操作
5簡略化 6念頭操作 7一般化〉
- ・ プリント学習 (スモールステップ 系統化)



文章を読み、尋ねられた内容に答える力を育てる

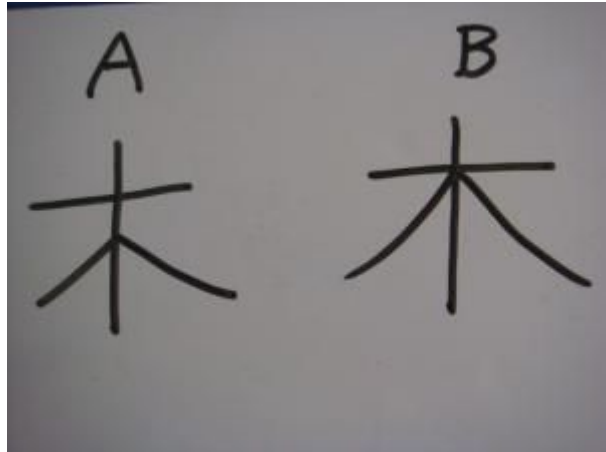
- 豊かな聴覚性言語 内言語 理解言語
- △ 文字を見て、音声化・内言語化していく体験不足

(具体的な学習活動)

「かさこじぞう」(自作教材による実践)

- 視覚認知の脆弱さへの支援 (横書き26P ひらがなルビ)
- 内容に力のある教材(子どもを引きつける教材)を選択
- まずは支援者が範読し、内言語をあたためる
- 選択問題を先に取り組ませ、次に穴埋め問題をさせる
(理解言語をもとに、文脈の中からキーワードを見つける)
- 1枚あたりの内容を精査し、たくさんの枚数をクリアさせる

漢字を正確に認知し、書く力を育てる



「先生、どこがちがうのか わからない」
「教えて」

見えていることと
認知できているこの乖離を支援する

(具体的な学習活動)

- 漢字にかかわる良質な視覚刺激 (パソコン)
- 漢字に読み仮名をふる (視覚支援&先行刺激)
- 複雑な漢字はパーツに分解 (立つ木に見る → 「親」)
- 視知覚認知の弱さ → 4分割のマス目を利用
- 聴覚性の言語支援 「たて・かぎ・たて・横・横」 = 「田」
- アウトプット=美しい字 間欠強化スケジュール 達成感

オリジナル教材から見えるスモールステップ(例)

〈言語〉

- 1 アンパンマンカードマッチング
- 2 くだものペアペアパズル
- 3 ひらがなつみ木 + パソコン(マッチング)
- 4 アンパンマン46Pパズル
- 5 文字はめカード
- 6 文字・図柄マッチングプリント(2文字・3文字・二語文・概念)
- 7 書字プリント(基本運筆・ひらがななぞり・ひらがな視写)
- 8 読解プリント・就学前(同時系なぞりプリント)
- 9 読解プリント・就学後(継次系プリント+同時系プリント)
- 10 漢字プリント(読み+読み書き+視空間認知)

▽ 実際のレッスンのようす

オリジナル教材から見えるスモールステップ(例)

〈数量〉

- 1 お買い物ゲーム
- 2 数字カードマッチング
- 3 パソコンと数字カードとのマッチング
- 4 ボードパズルによる数と量と認知の対応
- 5 パソコンソフトによる1対1対応 (「うみへ行こう」など)
- 6 同数発見プリント (順序数) ⇔ プリントによる操作活動
- 7 同数発見プリント (集合数) ⇔ ブロックによる操作活動
- 8 たし算ひき算 系統プリント + ブロックによる合成分解
- 9 かけ算プリント (視知覚認知+系統性対応)
- 10 わり算プリント (商の見立て+系統性対応)

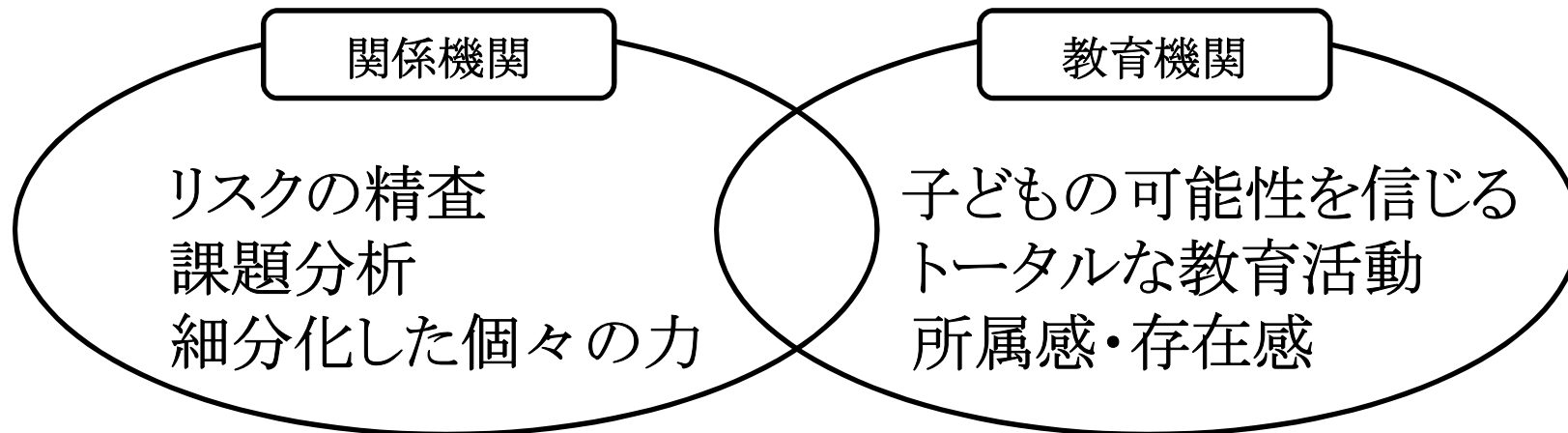
▽ 実際のレッスンのようす

第3部 おわりに ①

子どもは集団の中で育つ

- 学校は唯一無二の教育機関 「先生、すげえ」
 - ・ 子どもの可能性を信じること
 - ・ 集団の中に居場所がしっかりあること
 - ・ 自己肯定感は、他者からの評価で培われる
(△自分 ○先生・支援者・家族 ◎クラスの仲間)

- 教育の機能が充実してこそ、関係機関との連携が生きる



すべては肯定的な自己理解力を育てるために

○ 肯定的な自己理解力(子どもの命のかがやきを見つめる)

「自分の苦手な部分を受け入れた上で
自分自身のことをまんざらではないと思う気持ち」

- メタ認知力＝ゆとりをもって客観的に自分を見つめる力
- 自己理解⇒ 他者受容⇒ 人から慕われる子⇒ 幸せ



ご家族の切なる願いを受けて

- 子どもの実態 → 指導者の願い → 教材作り
- 個の学びと集団の育ち
- 育ちと学びの横軸・縦軸
- 教科学習 その先にあるもの
- 日本発インクルージョンのモデルに



！お電話でご予約ください！

無料体験
レッスン
実施！



お子様の発達をご家族と共にサポートします。

岡山白ゆり発達支援センターでは、お子様の特性や教育的なニーズに寄り添いながら、赤ちゃんから学童期以降までの、様々なプログラムを用意しています。可能性を信じること、あきらめないこと、すべての教育はここからスタートします。私たちはお子様とご家族と一緒に、小さなステップを一つずつ刻んでいきたいと考えています。



赤ちゃん体操

1レッスン約30分 0歳～
独歩獲得 独歩獲得

藤田弘子著「ダウン症児の
赤ちゃん体操」
(メデिका出版より)



子どもの
成長を支える

4つの レッスン

マンツーマンレッスン

1レッスン40分～45分 3歳～
小学生以上

言語・認知・
数量・音楽療法・
学習サポート

月曜～金曜
9:00～18:00



グループレッスン (就学前)

2歳～
就学前
生活習慣の自立
コミュニケーション

月曜～金曜
10:00～13:30



グループレッスン (就学後)

小学生
以上
ケアリング
コミュニケーション

月曜～金曜
15:00～18:00



※障害福祉サービス受給者証をお持ちの方は、約1割の経済的なご負担でご利用いただけます。※各種診断・手帳等をお持ちでないお子様のご利用も可能です。詳しくは担当(石原・吉廣)まで。※入会に際しての相談などは一切無料です。

お問い合わせ

社会福祉法人白ゆり会
岡山白ゆり発達支援センター
岡山市北区幸川市場321-3

☎(086)284-8121
<http://okayama-shirayuri.com>

ブログ「どの子ども伸びる どの子ども伸ばす」で
実践事例を公開中です。
<http://shinobu1.blog117.fc2.com/>